

平成24年度 両荘中学校 学校評価

A できている B だいたいできている C あまりできていない D できていない

領域	評価項目	評価	自己評価の顕著な結果・意見等	学校関係者からの意見等	改善策
学力向上	「学習意欲を高めるためのわかる授業づくり」	B	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度はおおむね良好であり、落ち着いて学習に取り組んでいる。8割程度の者は興味、関心をもって学習している教科があると答えている 実力テストで数学、英語に関しては点数の分布がふたこぶになってしまっている現状がある。真ん中よりやや下位の学力向上への指導が必要 個別の進路指導が生徒を奮起させるのに大きな影響力をもつ 学年に応じた進路指導をして、早い段階から意識の高まりの喚起を図りたい 	<ul style="list-style-type: none"> 小規模校の良さを生かし、個別のかかわりをさらに深めていけば、学習意欲の喚起もより可能になる 3年の夏休みくらいから学習へのスイッチが入った。最終学年になってからいきなり具体的に志望校名を考えさせるのではなく、学年に応じたきめの細かな早めの進路指導を希望する 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト、小テストなどで小刻みに理解度チェックをし、学習に目標を持たせ、達成感を味わわせる 意欲の低い者への指導者側の辛抱強い、あきらめない取組をする やらせきる、出しきらせる指導と支援 わからないことを気軽に聞ける雰囲気づくりを心がける 授業展開の工夫等教師の授業力、指導力の向上を図る 授業の中に生徒の活動を多く取り入れる等の工夫をする 課題の内容、与え方を工夫し、点検を怠らない
	「自主的・主体的な学習習慣と基礎学力のための家庭学習の定着」	B	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で取り組んでいる朝の「百マス計算」はほぼ定着している。そのあとの読書は、充実に個人差がある。 1年生の「Myコソノート」、2年生の「天声人語」の書き写しなどが家庭学習の習慣付けに効果的に働いている。また、点検や、できていない者に対して確実にやらせ切る指導が行われているため、毎日必ずやるべきものとして定着してきている。 多くの生徒の中に、1つの取組を継続できていることで自信が生まれていることがうかがえる。ただし、単なる作業に終わっている者もある。やる意味を理解させ、前向きな気持ちで取り組ませることが必要だ。 学習意欲の低い生徒への動機付けや働きかけに、工夫やさらなる努力がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年で取り組んでいることは進級しても継続して取り組んで欲しい 長期休業中の自由参加の補充学習で、「わからなかったことがわかるようになった。1年時から参加すれば良かった」と子どもが言っていたので補充学習の意義を感じる 課題はある程度出した方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 勉強方法、ノートの取り方など学習の基本についての指導を重ねて行う 補充学習の必要な生徒へのかかわりの時間を確保する(職員室前オープンスペース、ガンバルーム等) 授業のあとの振り返りシートを活用する 百マス、Myコソ、天声人語など定着している取組を継続して取り組む 小さな改善や進歩も見逃さず、認め、評価する
規律ある生活	「望ましい生活習慣の育成」	B	<ul style="list-style-type: none"> あいさつや頭髪・服装に関しては、よくできているが、生徒によって差もみられる 生徒と教員との間の信頼関係を築いていくことが必要 気遣いや思いやりの気持ちを持たせるような指導をしたい 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつは良くできている。服装や態度も問題ない 	<ul style="list-style-type: none"> 風紀委員のあいさつ運動を、教員全員で応援する。また教員もしっかりしたあいさつを常に行う 指導に対する教員の意思統一が必要 これなら全校で出来るということを全員が取り組んで確実にやり切らせる 生徒の中にリーダーを育てる指導をする
	「生徒理解と信頼関係づくりのための相談活動や個別指導の充実」	B	<ul style="list-style-type: none"> アンケートを見ても相談できる先生が少なく、学年が上がるに従って減っている 先生によって態度を変える生徒が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 進路に関わる相談など、保護者から先生に気軽に相談しにくい 生徒が気軽に相談できる先生がいて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員側が学年を越えて、多くの生徒に関わる さまざまな機会を捉え、生徒と個人的に話しをする機会を多く持つ くり返し語りかけると共に成功体験と一緒に味わい、信頼関係をつくる 生徒の現状に応じて授業の工夫、改善に努める やる気のある生徒をさらに伸ばすよう努める 教員同士の協働体制を高め、スムーズな連絡、相談を進める
	「行事や部活動による良好な人間関係づくり」	B	<ul style="list-style-type: none"> 小規模校だからできる部分をこれからも行事等で生かしたい 行事ごとに目的やねらいをしっかりと持って指導していくことが必要 部活動の充実につとめ、人間形成につなげていく 教員数、生徒数に対して部の数が多すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の選択肢が少なく、特に文化系の部活がもっと欲しい 部活などを生かして、学年を超えた縦のつながりの場が欲しい 行事では特に体育祭が感動的だった 	<ul style="list-style-type: none"> 行事を通して最後までやり切らせ、生徒と教員が共に達成感を持てるようにしていく 教職員が協働意識を高める。他学年や他の教職員にも気を配り、行事などの際は自発的に協力していく。 部活動でもそうであるが、特に大きな学校行事においては教員の意思統一が必要
豊かな心・豊かな環境	「道徳の授業と人権教育」	B	<ul style="list-style-type: none"> 正しい考えが理解でき、感謝や思いやりの心を持った生徒は多くなっている 人の話を素直に聞ける生徒が増えた 周囲の目を気にしたり、人間関係を壊すのを恐れて、集団への働きかけや、集団を高めようとする行動に結びつけるの難しい生徒が多いのが課題 人権意識や道徳感覚の個人差をどう埋めていくかが課題 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校や特別支援教育に対して、さらに積極的できめ細かな指導をしてほしい まだまだ心の幼い中学生が思いやりや人との接し方、大人の常識を身につけていけるように、教師の力量、努力を期待する 小規模校のため、人間関係が密であり、固定化されがちなのがネックだが、悪いことは悪い、という毅然とした指導をしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの意見が出せ、正しいことが認められる環境や、雰囲気を作る必要性 正しい行動を認め、正しくない行動を正す毅然とした指導 一人ひとりの個性を認め、尊重し合えるあたたかい人間関係を育てる指導
	「心和む美しい学校を目指した環境づくり」	B	<ul style="list-style-type: none"> 校内、校外を問わず、ボランティア活動に多くの生徒が積極的に参加しており、心が育っていることが感じられた 作物を育てる活動への生き生きとした参加がみられた 清掃のやりかたや、道具があればきちんと取り組める生徒が多く、雑巾がけの様子もよくなっている。教師の手本や指導の仕方が重要 	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備はできていると思う 清掃やボランティアに対してのさらに自主的な取り組みや参加ができればいいと思う 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒発信の、生徒が主体となる活動の工夫 清掃に対する評価の工夫
信頼される学校	「学校生活の公開と広報活動の充実」	B	<ul style="list-style-type: none"> 「学年だより」は昨年度より多く発行され、生徒の感想文も多く、充実している。学校の様子も良く分かり信頼される学校につながっている。「学校だより」も本年度出され良かった。 ホームページは夏より凍結状態。来年度は一新されるので期待したい。 オープンJHスクールはやはり参加者が少なかった。もっと来てほしいがよい方法を模索したい。 本年度はボランティア活動が充実していた。継続していくためにも目的を意識した取組が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学年だより」など行事予定や学校の様子がよく分かる。保護者に必要なものと感想中心のものなど、生徒本人が選択して渡しているようだ。確実に早く届くようにしたい 「ホームページ」は時代の流れでよく見る。更新が多い方が見るようになる。「学年だより」も載せるようにできないか 「オープンJHS」は、体育など子どもが動いている活動を見たい。球技大会や普段の部活動も見たい。学級懇談は三者懇談と違って、いろいろな話題が参考になった経験がある。中学校であっても良い 	<ul style="list-style-type: none"> 「たより」がちゃんと保護者に届いているのか判らず心配 ホームページは来年度から「たより」をはりつけたものにした オープンJHスクールを土曜日までではどうか 小学校が夏休みなどに行っている「保護者の奉仕作業」を中学校もしてはどうか 「信頼される学校」の一番は子どもがしっかり成長していることに限る。学習面の成長も目標としたい。 いじめや体罰のない学校であるための意識の向上と継続的な実践